

いつまでも

<今月の聖句> 「子どもたちを私のところに来させなさい」
(マルコによる福音書 10章13～16節)

「つださ～ん」
どこからともなく声がした。
春の暖かさを感じながら、礼拝堂から出てきた時のこと。
どこだろう。きょろきょろと見回すも、見当たらない。
もう一度、「つださ～ん」
声のする方へ自然と顔が上がる。あっ。
芽吹く前、まだつるつるのイチヨウの木に
せみのように“とまっている”3人の子どもたち。
先月28日、満開の桜が園庭を包み込んでいた。
3人とも年長さんだった。
そのうちの一人が自慢げに高みから、名を呼んでくる。
その子は「あのねえ、あと一日なんだよ」と続けた。

「あと一日」、明日が最後の登園日だよ、と。
知っています。でも、ふと、こちらの口を突いて出た言葉は
「えっ、うそ～、もっといて、もっとあそぼう」
その子も、そして私も、二の句をつけず、見つめ合った。
でも、気持ちはお互いぜんぶ分かっている。どの子も同じ。
自然にあふれ、起伏に富み、いつも何か新たな発見があった園庭。
土や木、花、野菜、生き物たちにお別れの挨拶をするかのように
いつまでも、いつまでも、夢中で駆け巡りつづける子どもたち。
そうやって、つくしの空気を最後の雫まで吸い込もうとしている。

言葉にできなくても、君たちを包み、育てきた
つくしの空気は、これからも君たちの心の中にありつづける。
いつまでも、あなたは、つくしの子だよ。
(つくし保育園園長 つだかずお)

<イースター礼拝のご案内>

4月9日(日)あさ10時30分 だいで教会
楽しくみんなでイースター。讃美歌と聖書のお話、ゲームやお菓子。日
曜日は教会へ！ お庭のチャペルで礼拝しましょう